

“こども園の保育者の学び(3)” 【楽しさの軸】から

★そうぞうをたのしむ ★つたえあいをたのしむ について紹介します。

## ★そうぞうをたのしむ…5歳児

テレビみえるように  
ここにおこう



ここ おふろね

「おうちつくろう！」と家の中を想像して積み木で作り始めました。お風呂やリビングなどをイメージしながら、数人で様々な形や色の積み木を組み合わせ、つくっていきます。積み木の人形を自分にみたとながら動かし、「ただいま〜!」「ご飯食べよう！」など、できあがった家での生活を想像しながら友達との会話を楽しむ声が聞かれます。

お弁当づくり

お弁当つくって  
どこで食べよう  
かな



スパゲティも  
つくろう!

こっちにも  
線路をつな  
げよう

線路づくり



電車が脱線  
しないよう  
に並べよう

### ★そうぞうをたのしむとは…★

子どもは材料、素材の面白さや行為の楽しさそのものを楽しみながらも、気付けば「想像の世界」の中で遊んでいます。

心にイメージしたことを、えがいたりつくったりしながら、外の世界に表すことができるようになってくると、どんどん「想像の世界」が広がっていきます。

## ★つたえあいをたのしむ…5歳児

むしのブランコ  
つくりたいね

どうやってつくる？



楽しかったことを表現しようと大好きな園庭や遊具、昆虫をつくりました。「虫も園庭であそんどるようにしよう！」「どこであそんどるのにする？」「ブランコとか滑り台でもあそびたいんじゃない？」と思いを伝え合い、楽しみながらつくっていました。アイデアを出し合ってできた作品からは、“公園楽しい！”“虫が大好き！”な気持ちが伝わってきます。

一緒に遊んでる  
ところかいたよ！  
あげる！

ありがとう！

絵の手紙

楽しそうな絵だね！  
私のも見て！

きれいだね～  
虹もある！

わたしは海を  
かいたんだ～！

友達と絵を見ておはなし

### ★つたえあいをたのしむとは…★

ブロックが自分の思うように組み立てられたとき、ままごとでおいしいごちそうが出来上がったとき、ふと、近くにいる大人にその気持ちを伝えたくなる。それが「つたえあう」ことの始まりです。聞き役としての大人が真剣に子どもの話に関心をもって聞くことが大切になってくるのです。その経験を繰り返すことで子どもは伝えることの楽しさを味わい、伝える楽しさを知ること、伝え合う楽しさが芽生えてきます。子どもはそばにいる友達や大人に「みて！」と呼びかけ、見せ合い、共感し合い、伝え合うことを楽しんでいきます。